2021年度委員会抱負並びに事業活動計画

委員会	５０周年記念事業実行委員会
担当副理事長	酒井　洋輔
委員長	酒井　洋輔
副委員長	稲田　光彦
委員会開催日	毎月１０日
ＬＯＭスローガン	私たちの守山（まち）、つくりあげるのは私たち
委員会スローガン	温故知新～古きを学び未来へ繋げる～

委員会抱負

１９７１年、志高き青年が集い守山青年会議所が誕生し、今年で５１年目の運動へと歩み出します。現在、世界では未知のウイルスとの闘い、長引く不況など様々な問題がわれわれの生活に影響を及ぼし、かつての心の豊かさが失われかけている時代とも言われています。そんな時代だからこそ、先輩諸兄から引き継いだ知識や経験を活かし、次代に向けた青年会議所運動を行い、地域に根差した活動を展開する必要があります。

当実行委員会は、歴史と伝統のある守山青年会議所５０年間の功績に感謝するとともに、これまでの歩みを振り返り、われわれの存在意義や高い志を再確認し、地域の方々とともに喜びを分かち合う事業を行います。また、守山青年会議所を語るうえでは欠かせない青少年育成も取り入れることにより、小学生などを含む若い世代が積極的に物事に取り組む事で主体性をもち目的をもって行動する事の大切さを学ぶと同時に、一人ひとりが主役となり地域の未来を担い、このまちの素晴らしさや楽しさを改めて感じてもらいます。そして、若い世代の夢や希望、守山青年会議所メンバーの地域に対する熱き思いを伝えます。さらに、時代に即したまちづくり運動に取り組み、常に地域を先導してきた私たちがリーダーシップを取り続けることで地域に眠る新たな課題の発見や提案への導きが生まれます。先輩諸兄の築き上げられてきた功績をしっかり伝承し、過去から現在そして未来へと繋ぐことが次の節目へ向けた新たなスタートとなります。

目標をもち、積極的に行動することにより、青年会議所と地域の繋がりがより強固なものとなります。大切なことは自らが変化し周りを変えることで地域が変化する事です。５０周年記念事業がきっかけとなり、今まで以上に地域に深く根差した活動や運動を展開することで地域から愛され、信頼され、また必要とされる団体へさらに成長することができ、新たな未来へ繋げていきます。

事業活動計画

1.５０周年記念事業の開催（８月）